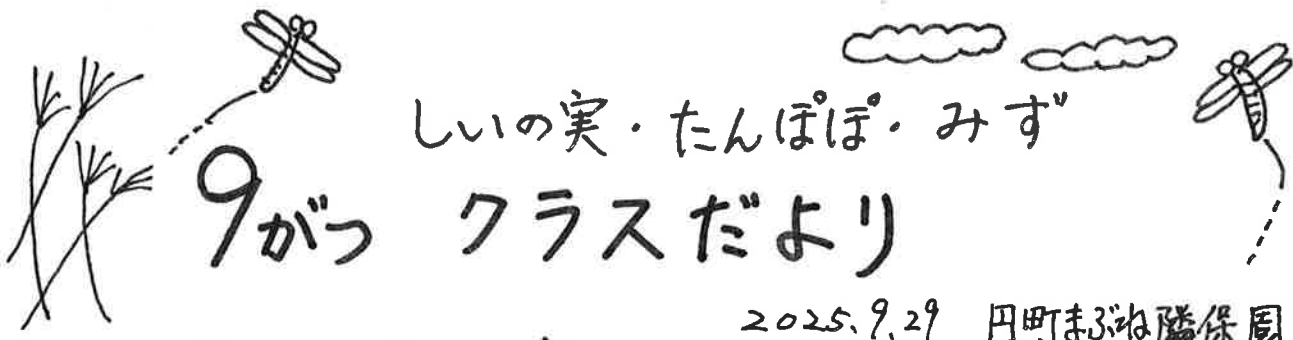
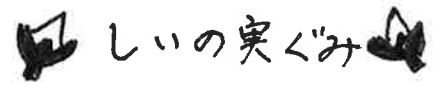




しいの実・たんぽぽ・みず

9がっ クラスだよ

2025.9.29 円町まぶね隣保園



水あそび、プールあそび、感触あそびなど、夏あそびを思いきり楽しんだ子どもたちは、心も身体も解放的になりました。9月の前半は、暑い日も多く、引き続き水あそびや感触あそびを楽しみました。後半は、散歩に出かけて、草花や虫探し、木の実など秋の自然を見つけて楽しんでます。

ポストへ 祖父母への手紙をみんなで円町駅のポストに入れに行きました。4人乗りバギーと立ち乗りの散歩カーに乗って出発です。1人ずつポストの前で抱っこしてもらい、渡してもらった手紙をしっかりと握って投函口へ入れます。「ハッピー」と言ってもらった子ども、手紙が「ちゅうぽん」で、せつぱい入るとポストから離れると手紙をしっかりと握りしめて嬉しくなる子どももいました。再び保育者と一緒に入れました。みんなのかわいい手紙が、おじいちゃんおばあちゃんに届いたでしょうか？

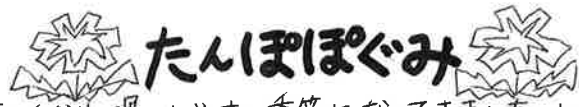
手を使って 夏の間に白玉粉、片栗粉、寒天、氷、泥んこ、絵の具など様々な素材を使って感触あそびをしました。9月も楽しめました。最初は「あれ？」「なんだろう？」と不思議そうにしていた子どもたちも2回、3回と繰り返すことで見通しがつき感触だけでなく温度や柔らかさ、素材の変化などに気づき、指先から手のひら全体、身体にもつけて、だんだんと大胆にあそぶようになりました。

みずあそび、絵本大好き 保育室のおもちゃ箱のひとつに絵本を入れてあります。みずあそびの中で子どもたちは、見たい絵本を出して、自分でページを開いたり、保育者の所に持ってきて「よんで」とはっきりと渡します。保育者が読み始めると他の子どもも1人、2人と集まって一緒に見ています。お気に入りの絵本は、「もういっかい」と人差し指をさして催促し何度も読んでもらっています。また、みずあそびやうたにみずあそび大好きで、「おもしろそうだなあ」とやってみたり「あめ」と身体を揺らしてみたり、手をバタバタと動かしてみたり、アアアアとみたり、保育者の話していることと自分の「ツチフリ」で真似、こしています。今、お気に入りのうたみずあそびに「秋の空」があります。歌に合わせて、みんなきれいな声で歌う所では、両手を上にあげてキラキラさせたり、とーくのとーくを〜の所では、指差してたり、「オーイ、グ」の所では、口に手を当てたり、ほっぺに当てたり踵に当てたり、その子なりの表現をしています。毎日の繰り返しの中で、歌と動作が結びついて一人一人とよりと模倣し若感し合う姿が見られる楽しいひとときです。



子どもたちの真似っこの世界も広がり月齢に合った遊びがあります。子どもたちそれぞれの特徴や受け止めで、友だちや保育者とのやりとりを楽しんでいきたいと思います。

日中の暑さに比べ朝夕の風は とても涼しく感じられるようになりました。今月の前半は、暑い日も多く 子どもたちは 水あそびや感触あそびなど夏あそびを 引き続き楽しみました。後半には 涼しくなると、園周辺や公園など 散歩に出かけて、秋の自然を見つけています。気温の変化が激しい時期ですが、体調を崩さないように気をつけていきましょう。



少しずつ涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。しばらく行けていなかった園外散歩にも、今月はたくさん行けました。久々に友だちと手を繋いで行けて、子どもたちも嬉しそうでした。途中で手が離れてしまうことがまだまだありますが、すぐに繋ぎ直しています。室内や園内での活動が多かった分、涼しくなった今は外で身体を動かして、伸び伸びとあそぶいい機会だなと思いました。

9月からは2人新しい友だちが入園し、全員で8人になりました。今まで女の子が多かったこのクラスですが、男の子が入ってくれたことにより、より元気に、パワフルにあそべるようになってきました。人数が増えたことで、けんかや思いの違いはたくさん増えてくると思いますが、引き続き、言葉や仕草で伝えたり、みんなであそぶことの楽しさを感じながら、一人ひとり大事に見守っていきたいと思います。

10月は園の大きな行事、運動会があります。たんぽぽぐみの参加はまだありませんが、大きい幼児クラスの友だちが頑張っている姿をこの中で見に行き、雰囲気を感じられたらと思います。

＜トイレトレーニング＞

保育園でも決められた時間に行くようにしていますが、みんなそれぞれはらばらで個人差もあるので、子どもたちの様子を見て、トイレに座ったり、オムツを変えることでスムーズにできるようにしています。たまにオムツが濡れていない時にトイレに座ると、タイミングが合えばトイレでおしっこが出ることもあります。トイレトレーニングはいつしたらいいかという声を聞くことがあります。これも発達によって、それぞれ個人差もあります。自分でしっかり出たことが分かる、便器に座れる、オムツが濡れていない時が多くなってきた、などのタイミングで、少しずつ始めていきたいと思います。



みずぐみ

室内あそびを満喫しながら、心も身体も成長中

- 残暑が厳しかった9月は、室内あそびで盛り上がり過ぎてしまいました。ごっこあそびでは、担任が参加しない方が盛り上がることもあります。最近では、赤ちゃんになりきってあそぶことが流行っていて、そこに担任が入ると子どもたちに少し照れが生じるようになってきました。「はずかしい」という感情が出てきています。
- いせにも、フリースペース(部屋の隣)に行くと、10周、20周とずーっと走っているの、オニごっこ形式にしよう、担任がオニ役で入ると「キャー」とではなく「ギャー」と悲鳴が上がり、盛り下がってしまいました。
- 思い返すと、夏前まではフリースペースで走る度に友だちとぶつかっていました。なので10周...20周とグルグル走れるようになったことに成長を感じました。今でも「前を見て走るよ」「ぶつからないように」と声は掛けていますが、ぶつかりそうになると身体を反転させようしたり、手を前に出して回避しようしたりと、反射神経も良くなってきたことが分かります。
- 又、室内あそびのおもちゃ等は、数に限りがある為、集団生活の中では、取り合い、押し合いも多く起こります。すぐに間に入って止めるべく、なるべくそこではありますが、この取り合い、押し合い等のやり取りは、子どもたちが社会性を学ぶ大事な機会でもあります。近くで見守りながら両者の思いを聞き、代弁して伝えることで、自分だけではなく、相手にも思いがあるのだと、繰り返しの中で気付けるように、寄り添って毎日を送っています。



—お原真い—

先日、久しぶりに公園に行きました。帰ってきて「あしがクサイ薬」と笑いが起きました。①「足、いいにおいする人〜？」
②「。。。」「①「足クサイ人〜？」
③「ハイハイ、ハハハハ〜薬」
保育園では裸足で過ごすことも大切にしています。これから園外へ出ることが多くなりますので、定期的に靴を洗って頂きますようお願いいたします。

